



わた なべ てる かず
渡 辺 晃 一

つ し み ん か い
津市民の会

国・県管理河川の堆積土砂等のしゅんせつは

問 平成23年から幾度となく本会議で質問等を行ってきたが、雲出川、波瀬川が堆積土砂により樹林化が進行し、洪水時の流下能力の低下が危惧されている。その後、香良洲高台防災公園の計画が実現し土砂処理ができるようになったが、今後も市民の安全安心を守るため計画的なしゅんせつが必要である。現在までの堆積土砂等しゅんせつの推移と今後の予定を問う。

答 国・県管理河川の堆積土砂等のしゅんせつは、雲出川では国の管理区間において、平成26年度に波瀬川との合流部と大正橋付近で実施し、平成28年度から雲出橋付近より中村川合流点にかけ河道掘削を実施していただいている。波瀬川では、国の管理区間において平成25年度に実施し、その上流部の県の管理区間においては、一志町井関地内のJR名松線の橋梁から上流に向けて、平成27・28年度に河道掘削を実施していただいた。今後、国においては引き続き雲出川の雲出橋付近から上流にかけて、県においては波瀬川のJR井関駅南側の頭越橋から上流に河道掘削を実施する予定と聞いている。引き続き、河道断面の確保のため、国・県に対し強く働きかけていく。

●その他の質疑・質問●

○津市総合計画（案）より「交流人口の拡大」として観光客誘致に向け農泊や滞在型スポーツ合宿に取り組んでどうか。また、大門を始め中心市街地活性化として観光地図作成の考えは○国体、インターハイの施設整備、役員やボランティアの確保等大会に向けて準備は大丈夫か○バイオマス産業都市として今後のEV車導入は など



▲洪水に弱い波瀬川
(しゅんせつ後の一志町付近)



こ ばやし たか とら
小 林 貴 虎

し み ん
市民クラブ

ミサイル着弾など武力攻撃事態の際の責任は

問 北朝鮮は繰り返し我が国にミサイルを発射している。6月7日には「米国よりも先に日本を丸ごと焦土と化す」と発言し翌日ミサイルを発射している。未然に防ぐのは国の責務だが、被弾した場合、被災者の救援や人命救助などは法に基づき市の責任だ。対応するための市の訓練計画の有無、備品の整備状況を問う。また、ダム破壊などテロに対する備えと心構えも問う。

答 訓練計画については、県内では津市が先がけて県と合同訓練を実施する方向で調整しており、その結果を踏まえ、市民レベルでの避難訓練についても考えていく。また、備品については、最低限必要と考えている医療器具等は備えてあるが、国が備えるとなっていることから、その備えを活用した上で、不足部分について、国に働きかけながら整備をしていく。

ダム破壊などテロに対しては、国等からの指示を待つのではなく、危機管理部職員が中心になり、被災状況等を把握することが必要である。市には生活関連施設の状況について、平素から常時連絡が取れるような体制があり、それらを利用しながら、武力攻撃事態等でも対応できるようにしていく。

●その他の質疑・質問●

○水道法改正で施設整備の責任が明確化され適切な使用料設定等が必須になる。民間資金を活用するPFI導入も明文化される。水は命に関わる安全保障上の問題。民間委託可能な分野とそれ以外を分ける判断力が必要○教育ネットワークの不具合に関して、報告遅延の釈明を求め、競争性の高い入札方法への改善を求める



▲テロ対策実践訓練の様子